

# 「京都市交通事業アクションプログラム」実施状況（平成16年度）

平成15年8月に策定した「京都市交通事業アクションプログラム」は、「ルネッサンスプラン」に掲げた事業及び京都市交通事業審議会から受けた提言に関する事業などを全27項目に集約し、年度別スケジュールや目標数値等を明確にした行動計画であり、平成16年度の実施状況については、27項目全ての取組が着手済みである。

取組項目		平成16年度の主な取組内容
利用促進の取組		
1	路線・ダイヤの改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会提言を踏まえた系統の見直し…モデルの継続実施 27号系統と203号系統の乗継モデルに係るお客様アンケートの実施</li> <li>・ 鉄道へのアクセス強化 18号系統：地下鉄竹田駅に接続する便を新設 特81号系統：中書島から竹田駅東口間の運行を増強 特南2号系統：地下鉄竹田駅とJR長岡京駅間の運行を増強 102号系統：大徳寺から北大路バスターミナルまで路線を延長</li> <li>・ 観光旅客の利便性向上を図る系統の新設 57号系統（京都駅～四条河原町～平安神宮・南禅寺・岡崎公園方面）の新設</li> <li>・ 遅れの生じにくい・分かりやすいダイヤの設定 区間別運転時分の見直し，折待時分の拡大 毎時同時刻発車や等間隔発車となるパターンダイヤの設定 利用実態に応じた運行回数設定</li> </ul>
2	市バスの走行環境改善による定時性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス専用レーン確保のための全市的な取組の実施 （市民への啓発に向けた取組，17年2月）</li> <li>・ おもてなしキャンペーン都大路作戦実施（春・秋2回で延べ825人参加）</li> <li>・ 毎週金曜日の17：00～19：00に四条通や河原町通のバス停周辺で，職員による立地啓発活動実施（392人参加）</li> </ul>
3	運賃制度の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市バス通学学期定期券の通用期間を拡大（16年4月）</li> <li>・ 小児用市バス専用一日乗車券カード（250円）の発売開始（16年9月）</li> <li>・ 「市バス通勤フリー定期券」及び「市バスとくとくカード」の発売開始（17年3月）</li> <li>・ 大学生向け市バス通学短距離定期券の値下げ（17年3月）</li> <li>・ 地下鉄駅の自動出改札機の一部を複数枚対応機に更新（15年度～）</li> </ul>
4	バス停留所の設置位置の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改善候補地の調査及び地先との協議実施</li> </ul>
5	IT等の活用による情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページの発信内容の見直しと新規情報の追加（53ページ）</li> <li>・ ホームページトップページアクセス数 6,319件／日 （15年度 4,676件／日）</li> <li>・ 市バス・地下鉄乗継情報提供に向けた調査・検討を実施</li> <li>・ 「ポケット・バスロケ」の機能アップに向けた取組として，地下鉄今出川駅に接近表示器を設置し，実用化テストを実施</li> <li>・ 交通局ホームページへ「よくあるご質問」掲載（17年1月）</li> <li>・ 市バス停留所・地下鉄駅等への2次元コードの表示（17年3月）</li> <li>・ 交通局ホームページ上での「お客様の声」の受付開始（17年3月～）</li> </ul>

取組項目		平成16年度の主な取組内容
6	案内表示の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「観光推奨バス路線指定制度」を用いて外国人にとって分かりやすい案内表示に改善（バス停留所での周辺観光案内板・付近観光案内板の設置，外国人向けバスマップの作成など）（17年3月）</li> <li>・地下鉄北大路駅，四条駅，五条駅，東山駅，二条城前駅に地下鉄・市バス乗継案内板を設置（17年1月，3月）</li> <li>・地下鉄今出川駅に市バス接近表示器を設置（17年3月）</li> <li>・地下鉄全駅に「駅ナンバリング表示」を導入（16年11月）</li> </ul>
7	バスロケーションシステムの増設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステムを8基設置</li> </ul>
8	イベントの開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アートパフォーマンスin山科駅を毎月1回（第2土曜日）に開催</li> <li>・市の事業とのタイアップ（新選組観光キャンペーン，「京都・庭園散策－岡崎－」等）</li> </ul>
9	観光客誘致施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄1dayフリーチケットの優待施設拡大（追加施設：京都文化博物館）</li> <li>・関係会議体への参画（京都市観光推進会議，祇園祭宵山会議等）</li> </ul>
付帯事業の取組		
10	地下鉄駅構内の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都駅に「フレッシュジューススタンド」開店（16年4月）</li> </ul>
11	オリジナルグッズの企画・販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あっちこっちバス」1,440個（16年9月発売，完売）</li> <li>・「GOGOトレイン」（電動式地下鉄模型）3,000個（16年10月発売，完売）</li> <li>・「スルッとKANSAIカレンダー」700個（16年9月発売，完売）</li> </ul>
12	広告制度のあり方の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民広報媒体としての行政広告の継続実施（平成16年度実績約1,300万円）</li> <li>・横枠広告販売促進キャンペーンの継続実施 15→16年度 49%増</li> <li>・電照広告販売報奨金制度の設定による媒体活性化 16年度 7社</li> <li>・電照広告の空枠を利用した無料情報誌ラックの拡大実施（16年3月 1駅2枠→17年3月 3駅9枠）</li> </ul>
経営体質の強化		
13	「管理の受委託」の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横大路営業所の「管理の受委託」の継続実施（12年3月～） 系統数 18系統 車両数 111両</li> <li>・洛西営業所の「管理の受委託」の継続実施（16年3月～） 系統数 13系統 車両数 94両</li> <li>・九条営業所の一部の「管理の受委託」実施（17年3月） 系統数 6系統 車両数 57両</li> </ul> <p>16年度決算における財政効果 1,429百万円</p>
14	総人件費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員数 75人削減（前年5月1日比較）</li> </ul> <p>（人件費削減効果額） バス 2,153百万円 地下鉄 723百万円</p>
15	経費の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14年度予算に対する17年度予算での削減状況 バス △307百万円 地下鉄 △474百万円</li> </ul>
16	定期観光バス事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期観光バス事業を有効に活用した観光振興の取組強化策を検討</li> <li>・国の「観光推奨バス路線指定制度」を活用した外国人向けの観光推奨バス「洛バス」の運行（100,101,102系統，17年1月運行開始）</li> </ul>

取組項目		平成16年度の主な取組内容
財政構造の強化		
17	「生活交通」（生活支援路線）の確保方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都のバス事業を考える会」において、生活支援路線の効率的・効果的な確保策について協議（計4回開催）→中間答申の提出（17年1月）→最終答申の提出（17年4月）→「小型バス・ジャンボタクシー代替モデル実証実験」開始（17年7月）</li> <li>・17年度予算において「生活支援路線」に対する一般会計補助（10億5,400万円）を予算計上</li> </ul>
18	地下鉄事業の長期収支改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄事業経営健全化計画を実施（16年度における一般会計出資金：5,725百万円）</li> <li>・15年度に引き続き、東西線線路使用料を66億円→55億円へ削減</li> </ul>
職員の意識改革		
19	職員研修の充実と意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所属研修（全職員対象）の実施（延べ受講者数 2,059人）</li> <li>・市バス運転士セミナー、地下鉄定期教育訓練において、体験実習を取り入れた研修を実施（延べ受講者数 2,842人）</li> <li>・目標管理制度を課長級、課長補佐級、係長級職員に導入</li> </ul>
市民とのパートナーシップ		
20	情報公開と市民理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都市交通事業アクションプログラム」実施状況の公表（16年9月、交通局ホームページで公開）</li> <li>・「京都市交通事業事務事業評価」の試行実施（17年3月、交通局ホームページで公開）</li> </ul>
21	市民とのパートナーシップの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニター意見を反映し、ポケロケのPRチラシ作成（16年10月）</li> <li>・「市バスご意見はがき」の実施（実施期間：16年9月～17年3月、受付件数：2,285件）</li> </ul>
公共交通優先型の交通体系の形成		
22	TDM施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嵐山地区におけるパーク&amp;ライド、東山地区における交通社会実験へ参加（「東山シャトルバス」の運行（16年11月）等）</li> </ul>
23	公共交通の社会基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄二条駅西口交通広場の供用開始（16年11月）</li> <li>・伏見港公園内にバス転回場を設置（17年1月）</li> </ul>
人や環境にやさしい公共交通		
24	バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンステップバス69両導入（合計258両 16年度末現在で全体の約34%）</li> <li>・視覚障害者誘導用ブロックの設置（4駅、全駅設置完了）</li> <li>・オストメイト対応トイレへの改修（3駅）</li> </ul>
25	市バス車両の低公害化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然ガスバス3両導入（合計30両）</li> <li>・アイドリングストップバス66両導入（合計278両）</li> <li>・DPF（黒煙等減少装置）を7両に装着（合計28両）</li> <li>・バイオディーゼル燃料使用車両数 95両</li> </ul>
26	地下鉄の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「テロ災害対応訓練」の実施（16年7月）</li> <li>・「列車火災対応訓練」の実施（16年11月）</li> <li>・車両間転落防止装置の設置（4編成）</li> </ul>
地下鉄の延伸		
27	地下鉄東西線の延伸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六地蔵～醍醐間の延伸 開通（16年11月26日） ※総建設費については、当初見込712億円→最終556億円と156億円の削減を達成</li> <li>・二条～天神川間の延伸 本格的な土木工事を実施（シールドマシンによるトンネル掘進開始）</li> </ul>